

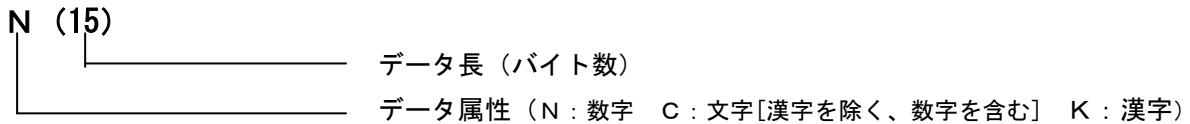
06.口座振替ファイル（全銀協規定形式）

(a) 口座振替業務口座振替ファイル（全銀協規定形式）の基本事項
レコードフォーマット（全銀協規定形式）各表の基本事項を示す。

表1 レコードフォーマットの例

位置	項番	項目名	データ長	内容	設定範囲	区分	備考
1 4	1	金融機関コード	N (4)	請求先金融機関コード		○	
5 21	2	ダミー	C (17)	未使用		—	
22 36	3	請求先金融機関名 (漢字)	K (15)	請求先の漢字金融機関名		△	

・「データ長」欄の見方



・「区分」欄の見方

表2 区分内容

区分欄	内容
‘○’	必ず設定が必要な項目
‘△’	条件により設定する必要がある項目
‘—’	設定なし（初期値を設定）。または入力不要

・設定内容が存在しない項目・使用しない項目に設定する値について
設定内容が存在しない項目・使用しない項目に設定する値を初期値として、データ属性ごとに以下のように値を設定する。

表3 設定内容が存在しない項目・使用しない項目に設定する値（初期値）

項番	データ属性	初期値
1	N	オールゼロ（' 0' ）
2	C	オールスペース（' '）ただし半角スペース

口座振替業務

- ・各項目のデータの設定について
各項目の有効データ長がデータ長に満たない場合には、データ属性により以下のように扱う。

表 4 各項目のデータの設置方法とその例

項番	データ属性	データ長	属性 (データ長)	有効データ	備考
1	N	後方の半角スペース削除後、前方に” 0”を設定する。	N (5)	“13”	“00013”
2	C	左詰後、後方に半角スペースを設定する。ただし、前方の半角スペースは有効データとみなす。	C (5)	“ABC” “ ABC”	“ABC ” “ ABC”

(b) ファイル形式

ヘッダ レコード	改 行	データ レコード1	改 行	データ レコードN	改 行	トレーラ レコード	改 行	エンド レコード	改 行	E O F
←120バイト→	2 バ イ ト	←120バイト→	2 バ イ ト	←120バイト→	2 バ イ ト	←120バイト→	2 バ イ ト	←120バイト→	2 バ イ ト	1 バ イ ト

図 1 全銀協規定形式ファイル形式

【注意事項】

- ・全銀協規定フォーマットに準拠する。
- ・改行コードは「CR+LF (0d0a)」、「CR (0d)」、「LF (0a)」とする。
- ・ファイルは、改行コードなしの形式でも受付可能である。
- ・エンドレコード後の改行コード及び EOF (1a) は、任意。
- ・システムではファイル内の改行コードを一律削除し、120 バイト単位にレコードとして取り扱う。
- ・ファイル構成は、図 1 のようにシングルファイルのみとなる。(マルチサブファイル不可)
- ・改行コードを含めて 120 バイトの形式でも受付可能であり、改行コードは削除せずスペースに置き換える。

口座振替業務

(c) ファイルフォーマット

表5 ヘッダレコードのレコードフォーマット

位置	項番	項目名	データ長	内容	設定範囲	区分	備考
1	1	データ区分	N (1)	レコード種別	1: ヘッダレコード	○	
2 3	2	種別コード	N (2)	業務種別	91: 預金口座振替	○	
4	3	コード区分	N (1)	文字コード種別	0: JIS 1: EBCDIC	○	
5 14	4	委託者コード	N (10)	委託者コード		△	
15 54	5	委託者名	C (40)	委託者名		△	(注1)
55 58	6	引落日	N (4)	引落指定日	MMDD	○	(注2)
59 62	7	取引銀行番号	N (4)	入金先金融機関コード		△	
63 77	8	取引銀行名	C (15)	入金先金融機関の カナ名		—	
78 80	9	取引支店番号	N (3)	入金先支店コード		△	
81 95	10	取引支店名	C (15)	入金先支店のカナ名		—	
96	11	預金種目	N (1)	入金口座の科目	1: 普通預金 2: 当座預金 9: その他 NBセンター代金回収サービスの場合 1: 普通預金 2: 当座預金	△	
97 103	12	口座番号	N (7)	入金口座の口座番号		△	
104 120	13	ダミー	C (17)		ALLスペース	—	

注1 使用できる文字は下表のとおり

(1) 数字 10種類	1 2 3 4 5 6 7 8 9 0
(2) カナ文字 46種類 (小文字使用不可)	ア イ ウ エ オ カ キ ク ケ コ サ シ ス セ ソ タ チ ツ テ ト ナ ニ ヌ ネ ノ ハ ヒ フ ヘ ホ マ ミ ム メ モ ヤ ユ ヨ ラ リ ル レ ロ ワ ラ ン
(3) アルファベット 26種類	A B C D E F G H I J K L M N O P Q R S T U V W X Y Z
(4) 濁点、半濁点 2種類	、 。
(5) 記号 8種類	¥ . () / - (ハイフン) 「 」

注2 3桁での設定も可能とする。ただし、3桁で設定された場合は、後方の半角スペース削除後、前方に"0"を設定する。

口座振替業務

表 6 データレコードのレコードフォーマット

位置	項番	項目名	データ長	内容	設定範囲	区分	備考
1	1	データ区分	N (1)	レコード種別	2: データレコード	○	
2 5	2	引落 銀行番号	N (4)	請求先金融機関コード	ゆうちょ銀行を指定する場合、 以下の内容を設定すること。 9900: ゆうちょ銀行	○	
6 20	3	引落銀行名	C (15)	請求先金融機関のカナ名		△	(注1)
21 23	4	引落 支店番号	N (3)	請求先支店コード	ゆうちょ銀行の場合、記号の 上2桁目から3桁分を設定する。 以下の下線部分が該当する。 例) 1 <u>2 3 4 5</u> - (記号) 1 <u>2 3 4 5 6 7 8</u> (番号)	○	
24 38	5	引落支店名	C (15)	請求先支店のカナ名		△	(注1)
39 42	6	ダミー	C (4)	未使用	ALLスペース	—	
43	7	預金種目	N (1)	請求先口座の科目	1: 普通預金 2: 当座預金 3: 納税準備預金 9: その他	○	
44 50	8	口座番号	N (7)	請求先口座の口座番号	ゆうちょ銀行の場合、番号の上7桁を 設定する。以下の下線部分が該当する。 例) 1 <u>2 3 4 5</u> - (記号) 1 <u>2 3 4 5 6 7 8</u> (番号)	○	
51 80	9	預金者名	C (30)	預金者のカナ名称		○	(注1)
81 90	10	引落金額	N (10)	引落金額		○	(注2)
91	11	新規コード	N (1)	新規コード	0: その他 1: 第1回引落分 2: 変更分	△	
92 111	12	顧客番号	N (20) または C (20)	顧客番号		△	
112	13	振替結果 コード	N (1)	未使用		—	
113 120	14	ダミー	C (8)	未使用	ALLスペース	—	

注 1 使用できる文字は下表のとおり

(1) 数字 10種類	1 2 3 4 5 6 7 8 9 0
(2) カナ文字 46種類 (小文字使用不可)	ア イ ウ エ オ カ キ ク ケ コ サ シ ス セ ソ タ チ ツ テ ト ナ ニ ヌ ネ ノ ハ ヒ フ ヘ ホ マ ミ ム メ モ ヤ ユ ヨ ラ リ ル レ ロ ワ ラ ン
(3) アルファベット 26種類	A B C D E F G H I J K L M N O P Q R S T U V W X Y Z
(4) 濁点、半濁点 2種類	・ 。
(5) 記号 8種類	¥ . () / - (ハイフン) 「 」

注 2 金額が 0 円の場合、金融機関ホストへの送信対象とならない。なお、確定・承認操作は可能である。

口座振替業務

表7 トレーラレコードのレコードフォーマット

位置	項番	項目名	データ長	内容	設定範囲	区分	備考
1	1	データ区分	N (1)	レコード種別	8 : トレーラレコード	○	
2 7	2	合計件数	N (6)	データレコード件数の合計		○	
8 19	3	合計金額	N (12)	データレコードの 引落金額の合計		○	
20 25	4	振替済件数	N (6)	未使用		—	
26 37	5	振替済金額	N (12)	未使用		—	
38 43	6	振替不能件 数	N (6)	未使用		—	
44 55	7	振替不能金 額	N (12)	未使用		—	
56 120	8	ダミー	C (65)	未使用	ALLスペース	—	

表8 エンドレコードのレコードフォーマット

位置	項番	項目名	データ長	内容	設定範囲	区分	備考
1	1	データ区分	N (1)	レコード種別	9 : エンドレコード	○	
2 120	2	ダミー	C (119)	未使用	ALLスペース	—	